

2026 年度多元系化合物・太陽電池研究会 開催案内

“Workshop on Ternary and Multinary Compounds 2026”

主催：(公社) 応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会 <http://annex.jsap.or.jp/tmc/>

共催：(公社) 応用物理学会 中国四国支部

日時：令和 8 年 12 月 18 日 (金) 13:30~17:30, 12 月 19 日 (土) 9:15~11:45

開催場所：松江テルサ (JR 松江駅前 〒690-0003 島根県松江市朝日町 478-18)

発表形式：口頭発表, ポスター発表

世話人：野瀬 嘉太郎 (甲南大学, 代表), 米田 稔 (岡山理科大学), 今宿 晋 (島根大学),
田中 久仁彦 (長岡技術科学大学), 杉山 睦 (東京理科大学, 研究会代表)

応用物理学会「多元系化合物・太陽電池研究会」では、毎年、春季・秋季学術講演会でのシンポジウムに加え、招待講演および一般講演 (口頭・ポスター発表) からなる年末講演会を開催しています。令和 8 年度は、NHK 連続テレビ小説「ばけげん」の舞台となった島根県松江市において開催いたします。

一般講演では、多元系化合物太陽電池および関連材料をはじめ、発光材料、酸化物、磁性体、熱電材料など、多元化合物に関する幅広い分野を対象としています。

本研究会は、学生や若手研究者の育成と、大学・研究機関・企業の枠を超えた研究者間の交流を積極的に推進しています。特に、CIGS, CZTS, CTS 系などの化合物太陽電池分野における人材育成の場として定着しており、多元系材料に関する最新の研究成果について活発な議論を行うとともに、新たな研究テーマや共同研究のきっかけとなる研究会です。

また、本年末講演会で発表された研究成果は、査読を経て *Journal of Ternary and Multinary Compounds* に掲載され、J-STAGE にて公開されます。各論文には DOI が付与されるため、学生や若手研究者にとって、自身の研究成果を学術論文として発信する貴重な機会となっています。

今回は特別講演 1 件、招待講演 2 件、一般講演 6~8 件、ポスター発表約 25 件を予定しています。

参加費：研究会会員・学生 無料, 非会員 4,000 円 (税込, 含研究会年会費)。学生は年末講演会に参加すると自動的に研究会学生会員となります (学生会員年会費は無料で、卒業・修了すると退会となります)。

意見交換会 (宿泊込み)：12 月 18 日 (金) 19:00~21:00 夕景湖畔すいてんかく (〒690-0852 島根県松江市千鳥町 39) 一般 17,000 円 (税込), 学生 13,000 円 (税込) 参加人数により変動する可能性があります。

問合先：野瀬嘉太郎 (nose.yoshitaro.5e@konan-u.ac.jp)

タイムテーブル (予定)

12 月 18 日 (金)

13 : 30-13:40 開会式

13 : 40-14:20 招待講演

14 : 20-14:30 休憩

14 : 30-15:30 一般口頭発表 (3~4 件)

15 : 30-16:10 招待講演

16 : 10-17:30 ポスター発表

19 : 00-21:00 意見交換会

12 月 19 日 (土)

9 : 15-10:10 特別講演

10 : 10-11:10 一般口頭発表 (3~4 件)s

11 : 10-11:30 閉会式, ポスター賞授与

閉会式終了後, 写真撮影